



日本共産党 市川市議会議員

谷藤利子の市政報告

ホームページURL <http://www.jcp-ichikawa.com/tanifuji/index.html>

日本共産党市川市議団
谷藤利子個人版

2011年12月16日 N060
連絡先: 福栄2-1-1-713
電話: 398-5948

1、道路・歩道、街路樹について

①南行徳ダイエー近く交差点の歩道の段差解消 ②南行徳4丁目のフタ掛け歩道の安全対策 ③南行徳2丁目コミュニティバス路線沿い歩道の段差解消 ④南行徳4丁目の水路の暗渠化、遊歩道化 ⑤島尻マンション前の道路のU字溝をフタかけし、ガードレールをつけてほしい。⑥島尻マンション前のミラーをしっかりとほしい。⑦新井1丁目のバス路線の新井寺から出たところにカーブミラーができないか。⑧新浜1丁目、押しボタン信号から新浜側に向かう歩道の改善 ⑨福栄公園から福栄4丁目側の道路、液状化や地盤沈下で、道路がガタガタしている。小原歯科周辺が雨の度に水浸しの解決。 ⑩福栄2丁目、3丁目の南北のフタかけ歩道の段差解消。街路樹等緑化対策。⑪塩浜橋の浦安寄り歩道の安全対策

2、信号機や横断歩道など

①島尻マンション近くのコンビニ前と広尾防災公園前、島尻のスーパーエコス近くのT字路に押しボタン式信号機をつけて欲しい ②島尻のバス路線の速度制限下げられないか。③浦安新浜通りの浦安側から塩浜方面への右折信号機をつけて欲しい。④塩浜方面からの右折信号機の時間を少し延長してほしい。⑤福栄3丁目バス停近くの信号の浦安新浜通りの出入りに横断歩道がほしい。⑥行徳駅前バス通りと県道市川浦安線の交差点をスクランブル交差点にできないか。⑦ハイタウン塩浜、塩浜体育館側から市営住宅に向かう交差点に音声信号機を設置し、歩行者用信号の延長時間をもっと長くしてほしい。⑧猫実川に塩浜から浦安に行く平らな歩道橋が欲しい。小さくても狭くてもいい。⑨塩浜体育館近くの国道357号交差点の歩行者用の青信号の時間を長くして一回で渡れるようにしてほしい。

9月から10月にかけて行った党市川市議団の市政アンケートに歩行者の安全対策や放射線対策等、たくさんのご要望が寄せられました。これをもとに、現地調査して、11月7日、市当局に改善の申し入れをしました。



公園の枯葉が貯まっているところの放射線量測定
水が流れない側溝の調査



★安全基準0.23より高いところが多い公園の放射線量(μcv毎時)

公園名	地表 50 cm	公園名	地表 50 cm
東海面公園(南行徳4)	0.27	桜庭公園(福栄1)	0.28
南行徳公園(相の川4)	0.29	塩焼中央公園	0.27
広尾防災公園(広尾1)	0.25	小宮山公園(妙典4)	0.19
行徳駅前公園(湊新田)	0.34	ひだまり公園(妙典3)	0.22
西浜公園(新浜)	0.22	常夜灯公園(本行徳)	0.22



現地調査した写真添えて、市へ申し入れ

市政アンケートへのご要望、現地調査して申し入れ

12月市議会
一般質問その1

来年度の予算編成は くらし・福祉・教育優先に



連結ベース(企業会計)で
みても市川市の財政は豊か

貸借対照表(市が所有する全ての資産と負債の比較)でみると、85%が準資産
基礎的財政収支(経常的収支と資本的収支の合計)は、48億円の黒字

★この収支がプラスであるということは、財政の健全性(豊かさ)を表している。

豊かな財政は市民のくらしと福祉優先に
そこで私は、「市川市は10年以上に及ぶ職員削減や市民負担増等で、実質公債費(借金返済)比率は5年前の4分の1に、国からの交付税も受けない不交付団体となり、企業会計でも財政的には大変健全です。市民は収入減で暮らしは大変になっている。財源確保のために、給料や生命保険等の差押えによる徴収強化や、公立幼稚園や敬老祝い金の廃止等、くらしや福祉等聖域なく見直すというやり方は改めるべきだ。」と主張しました。

市川市の「平成24年度予算編成方針」では、「24年度は、市民の所得減少により市税収入が減少する一方、まちづくりのビッグプロジェクトで普通建設事業費が前年比約71億円の増加となること等、新たな財政需要に振り向ける財源が減少して、財政は厳しい。市税、国保税等、滞納分の徴収強化や福祉・教育等聖域なく事業の見直しをする」等としています。

ビッグプロジェクトで
財源不足と言うが

一般質問 その2

石油等危険物の地震、液状化対策

東日本大震災で起きた市原のコソモ石油の爆発火災を教訓に、3月11日に起きた東日本大震災は、千葉県でも震度5弱という大きな地震でした。この地震によって市原市五井にあるコスモ石油のタンクが倒壊、爆発炎上し、鎮火まで11日間も燃え続け、行徳からも不気味な赤い炎がよく見えました。コスモ石油の隣には放射性物質である劣化ウランが765キロも保管されているチッソ石油化学があり、あわや大惨事になる一歩手前でした。



3, 11の地震で爆発炎上した市原のコソモ石油のタンク

市内の石油等危険物の保有状況と耐震対策

【保有状況】

・市全体で 1223 施設、389,269kl

【臨海部の保有は市全体の 63%】

・石油類 屋外タンク 262 基 24 万 3736kl

・ガス 屋外タンク 5 基 6,307,797Nm3

【臨海部にある大容量の屋外タンクの基数と耐震適合率】

・10,000kl 以上 4 基 耐震基準 100%

・1,000～10,000kl 18 基 同 94%

・500～1000kl 57 基 同 43%

★平成 29 年 3 月までに耐震 100%にする計画で進められている。

危険物の耐震基準は液状化に耐えられる厳しい基準に市は保有状況を明らかにしたうえで、「耐震対策については、5 年以内に 100%完了する、耐震基準は液状化に耐えることが条件で厳しいもの。万が一コンビナート火災が起きた場合に備えて、広域的な防災訓練も事業者交えて定期的に行っている」と答弁しました。

一般質問 その3

島尻地域の歩行者の安全対策

島尻の工場が次々撤退して、急速に高層マンションが建ちましたが、近くに広尾防災公園や保育園、旧江戸川沿いの遊歩道ができ、とてもいいところになっています。

公園に向かう道路の側溝のフタかけとガードレールを設置して安全な歩道をつくってほしいについて、市の対策を求め、質問しました。

これに対して市は、「側溝については市が年度内にバリアフリー化を実現する。その他実態調査して、県に働きかける」と答弁しました。

押しボタン式信号機と歩道づくりを

市政アンケートに昨年同様に寄せられた要望（広尾防災公園正面出入り口とマンション街のコンビニ付近、スーパーエコス近くの三差路に押しボタン式信号機をつけて欲しい。また、島尻から広尾防災



スーパーエコス近くの三差路を調査しているところ

街角 ニュース

マンションの液状化被害に市が独自支援予算化

12月市議会で、分譲マンションの液状化被害に市が独自支援する補正予算が組まれました。

市は、「3, 11 地震後の 7 月に 547 の管理組合に被害アンケートを行い、193 組合から回答があったが、そのうち 37 マンションが液状化被害であった。年度内には 19 組合を対象に 2000 万円を予算化し、新年度改めて予算化する。申請は領収書が見積書と罹災証明書、写真等を添えて行い、上限 3000 万円、3 分の 1 を補助。建物、配管、地盤沈下等広範囲を対象にする。当面 24 年度いっぱいを期限に考えている」と説明しました。

私は議案質疑で、周知の徹底を求めました。

利子の最近の主な活動日誌



12月4日 市川母親大会に参加



11月14日 液状化対策で政府申し入れ



11月11日 市議団で市長に来年度予算要望